

ノ協調ニヨリ最後迄追射スルヲ以テ遂ニ離脱困難ト
ナルコトアリ

進入前ニ敵船ノ配置ヲ承知シ離脱方向ヲ選定スルヲ
可トス

5. 敵ハ煙幕ヲ有効ニ使用ス

發煙濃厚ナル場合ニ於テハ高度約五〇米迄ニ到シ上
空ヨリノ船體ヲ通視ハ可能ナルコトアルモ急降下ヲ以
テ煙内ニ突入スルトモハ全ク不明トナリ攻撃ヲ復行セ
サルヘカザルコトアリカカル場合ニ於テハ發煙外ノ

目標ヲ選定スルヲ可トセシ

6. 敵ハ個艦ヲ配置シアルモノ、如シ

敵ハ發船ヲ使用シ個船トガシアルモノ、如キモ夜間
之カ判別ハ不能ナルヲ以テ為シ得ル限り走行中
ノ艦船ヲ選定スルヲ可トセン

7. (無線連絡)

無線ハ待避間ハ通常封鎖スルトモ攻撃直前ニ於テ
短切ナル攻撃待機ヲ發シ攻撃後ハ成ル可ク速カニ
戦果報告ヲ實施スルヲ要ス 然レサレバ全ク不明ノ

儘未歸還トナルコトアリ

三、爆彈ノ効力ニ就テ

ノ陸甲二五〇籽彈ハ不發トナルコトアリ

又二五〇籽跳飛彈ハ爆發確實ニシテ其ノ効力ハ

擊沈中型土輸送船以下ト判定ス

又海軍二五番彈ハ二五〇籽跳飛爆彈ヨリ更ニ効

大ナルモノ、如シ信管、延期秒時二秒以上ニ調整

ルヲ要ス

四、機體ノ改修ニ就テ

ノ單排氣ハ對空火器ニ對シ極メテ有効ナリ機能ニ於

テ若干ノ振動ヲ見ルノミ吸入効率良好ナル為稍

々燃料消費量大馬力ハ離昇時ニ於テ稍々火巡

航ニ於テハ變化ヲ認メズ冷却効率良好ナリ

又燃料増槽ハ二〇〇立タンクヲ同乘席ニ一々二裝

備セルモノニ個々裝備ハ操縦上極メテ困難一個裝備ハ

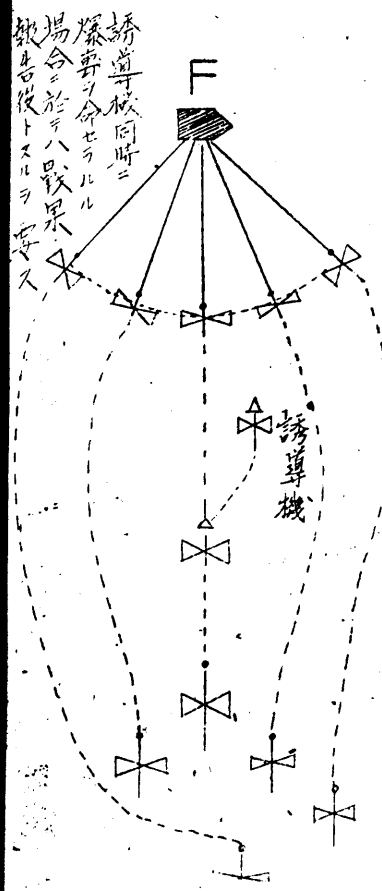
注意セバ大ナル支障ナシ

五、特攻機ノ誘導戰果確認ニ就テ

ノ離陸空中集合航進間ノ體形保持ハ隊長機ヲ由

心トスルコト

ス航進間ノ航路高度ノ選定ハ誘導機ニ依ルコト
特ニ異機種ノ場合ニ於テハ上昇旋回水平飛行諸
度等ニ關シ細密ナル協定ヲナスヲ要ス



結言

以上極メテ不備ナルモノ至トシテ宮古島中飛行場ヲ
 基地トシ約一ヶ月半ニ亘ル作戰ノ空中勤務事項ニ
 關シ蒐録セルモノナリ 然モ中隊ノ現狀ニ於テ(操縦者ハ
 一〇〇〇)ニ〇〇〇時間同乗者ハ機上射手下士官
 宮古ヨリ沖繩間ノ特異ナル狀況ヲ以テ支那大陸近海及
 各機種各部隊ニ於テ自ラ相異スルトコロアルヘシト思惟ス

天號作戰間ニ於ケル航空地上勤務部隊(69AA 201st 128th) 戦訓
在先島列島

一、飛行場設定及偽裝、欺騙

一、主副滑走路ノ間隔ハ千米以上ヲ離隔シ爆撃被害

ヲ局限スルヲ要ス特ニ主副滑走路ノ交又セル場

合ニ爆撃毎ニ其交又部ヲ破壊セシレ同時ニ使用

不能トナルヲ常トス

二、主誘導路ハ巾少クモ五十米以上ニ飛行機ノ離著

陸可能ナル如ク設定セバ有利ナリ

三、舗装路面ニ粉石炭又ハ石炭殻ヲ散布スルハ

路面偽裝ノ爲有効ナリ

4. 落下傘、天幕等ヲ布置スル偽彈痕ハ相當効

果アリタリ

5. 偽飛行場ヲ設定シ且偽飛行機ヲ配置或ハ之
カ火上ノ狀況現示 偽夜間標灯其他ヲ以テ欺
騙ニ勉メ以テ敵火ヲ吸收シ本飛行場ニ對スル他
害ヲ減少シ得タル例少カラス

(偽飛行場ノ外偽家屋偽障地偽砲等モ可
ナラン)

ニ飛行場勤務

(例) 宮古西飛行場(一般ニ使用シ非ス)ニ於テ
破損不時着機ヲ配置シ且其間焚火ヲ實
施セシニ敵ノ夜間攻撃ハ全部該飛行場ニ集
中セシ中飛行場ヨリノ離陸ヲ此合易ナラシメ
タリ

飛行場勤務ヲ終止蘇門圍滑ニ遂行スル爲ニ直接勤務
スル各種部隊ノ編成ニ調和アラシメ且此等ヲ有機的ニ結
合シ各部隊本務遂行ヲシテ相互ニ密接ナル連繫ヲ

保持セシムルニ在リ

ノ飛行場勤務班ノ人員ハ其飛行場使用機數ニ依

ルモ勉メテ餘裕アラシムルヲ可トス

ニ補給人員ハ主トシテ補給中隊ヨリ充當シ不足人

員ヲ特警官エノ一部ヲ以テ援助セシメタリ

應急出動機ノ補給ノ爲秘匿位置ニ豫メ最

小限ノ燃彈及抽出用空「ド」ラム罐ヲ分置（之カ

爲各秘匿位置ノ收容豫定機種ヲ豫メ定メ置

クヲ要ス）シ得ハ敵機在空中ト雖モ晝間作業

ノ能率ヲ向上シ得

燃料ヲ其郁度洞窟等ヨリ搬出補給セントズレバ出動時

刻ニ至ルモ敵機ノ制壓セラレ作業ヲ完了シ得サルコトアリ

但シ燃彈共ニ飛行機秘匿位置ヨリ十米以上離隔シハ

數死壕内ニ偽裝シ置クヲ要ス 此際爆彈ハ基部部

ニ十分塗油シ雨水ノ浸入及發錆ヲ防止スルノ著

意ヲ必要トス

秘匿施設内ニ於ケル燃料補給ニ方リテハ十八五ノ機

科用ニ依ルヲ最適トシ爆彈裝着ハ丸杖應用ニ依ルヲ最

適トス道彈車ノ價值又大ナリ

〇整備班修理班ハ各機種ニ應スル如ク任務ヲ分擔シ

先任者ヲシテ之ヲ統轄セシムルヲ有利トス

〇秘匿班ハ同時ニ十數機ノ搬出入ヲ要求セラルコト屢々

ニシテ而モ至短時間ニ實施セサルヘカラサルヲ以テ一機

(三式戰トシテ)少クモ三十名ノ人員ヲ確保シアラサル

ハ困難ナリ 他部隊ノ援助ヲ胸算シ或ハ一人ヲ

シテ二回以上ノ作業ヲ擔任セシムルハ不可ナリ

梯曉搬入ニ際シ人員不足ノタメ一人ヲシテ二回搬

送セシメタルニ秘匿未了ノタメ敵機ノ夾襲ス

ル處トナリ急遽其場ニ於テ偽裝シ辛ウシテ

損害ヲ免ルタル例モアリ

偽裝實施ノ爲ニ右以外ニ之ニ專念シ得ヘキ人員

ヲ設ケルヲ要ス

即チ偽裝人員ヲ搬送ニ使用シタル爲偽裝材

料整備不良トナリ秘匿位置ヲ曝露セル例アリ

〇兵器班ハ彈藥燃料等ヲ補給班ニ交付スルニ先

立チ彈藥信管ノ結合等ニツキ十分検査シ之カ

準備ヲ完全ナラシムルヲ要ス

信管結合セサルモノ又懸吊架ト爆彈吊ト一致

セサルモノ等アリタリ

6. 空襲下出勤迄ニ於ケル飛行場ニ於ケル勤務要

領ヲ圖示セバ左ノ如シ

三高度分散秘匿

ノ飛行機秘匿位置ニ通スル誘導路ノ幅員ハ既設

道路ヲ利用スル場合ニ於テモ最小限ナラシメ兩側

ニ純草等ヲ植生スルヲ可トス

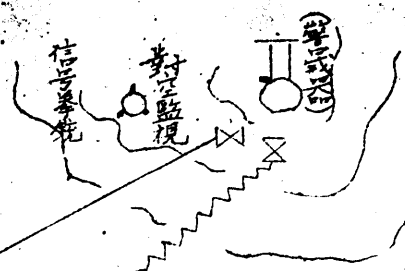
宮古飛行場ノ出勤迄ニ於ケル飛行場勤務要領

敵ノ來襲時ニ方向距離ヲ適時通報シ對應ノ餘地ニ與ヘシム

道路ヲ利用スル場合ニ於テモ限ナラシメ兩側ニ銃算等ヲ植生スルヲ可トス

宮古飛行場、出勤迄ニ於ケル飛行場勤務要領

敵ノ來襲時ニ方向距離ヲ適時通報シ對應ノ餘地ニ與ヘシム



秘匿地

薄明時ニ誘導ヲ完了スル如シ出入弁ヲ規正ス

敵機ノ來襲時ニ直ニ秘匿シ得ル如ク

飛行場ニ於ケル人員ハ必要限トスルモ搬送ニ要員ニ適時、位置ヲ待避セシメ秘匿クヲ要ス

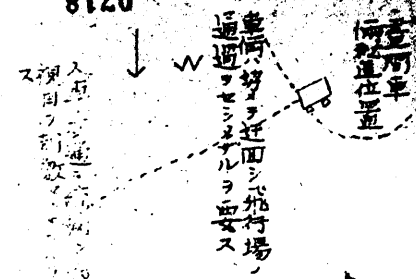
機銃網ヲ懸ケタル儘令散配位置ヲ出動時前ニ移動シ現位置ヲ逐次発進セシム

(始動補給車類)

重荷類ハ出勤前迄ニ搬送於テ秘匿待機セシム

備考一、ハ待避壕ヲ示ス

二、トハ搬出ノ飛行機ヲ示ス



入直ニ至リテ機銃網ヲ撤去シ機銃位置ヲ示ス

機銃網ヲ懸ケタル儘令散配位置ヲ出動時前ニ移動シ現位置ヲ逐次発進セシム

誘導路ヨリ秘匿位置ニ引込路ハ飛行機搬出入
ノ外人車ノ通行ヲ禁シ燃料補給ノ爲ニモ

秘匿位置ニ於テハ補給車ヲ用ルコトナク手
力又ハ簡易補給器ヲ以テ實施シ又轍痕ハ直
チニ消滅スルヲ要ス

秘匿位置ヲ暴露セシメサル爲ニ數個ノ秘匿位
置ヲ一組トシ責任者ヲ決定メ之カ偽裝秘匿ノ

責任ヲ分明ナラシメ常ニ點檢指導ヲ嚴ニシ賞
罰ヲ明カニスレハ効果的ナリ

秘匿施設ハ絶エス補備スルヲ要ス

4. 偽裝材料ヲ秘匿位置附近ノ樹林ニ求メ爲ニ森林ノ形狀ヲ變化セシメ却テ秘匿位置發見ノ端緒ヲ作爲セサル如ク注意ヲ要ス

5. 潛走路或ハ著明ナル誘導路ニ近接セル長大ナル森林等ヲ秘匿所トスルハ攻撃ヲ受ケ易シ殊ニ著明ナル建物附近ニ設定スルハ最モ不可ナリ

(例) 石垣ニ於テ國民學校附近ノ秘匿位置ヨリ被彈シ之ニ反シ離隔地ニ點在スル小森林

林或ハ凹地等ハ比較的目標トナルコト勘カ

リキ

6. 秘匿位置及飛行場周邊ニ於ケル兵ノ行動地域

ニ成ルハク遮蔽良好ナル位置ニ切カク多數ノ暗室式掩体ヲ設ケ作業人員ノ待避壕タラシムルト共ニ空襲下秘匿器材ヲ監視シ被彈發火セハ直ニ消火ニ任セハキ人員ヲ待機セシメ置クヲ要ス

(例) 石垣飛行場ニ於テ特設警備工兵隊ノ兵二名ハ秘匿作業中敵機ノ攻撃ヲ受ケ附近

ノ「ドラム」罐ニ被彈發火セルヲ敵彈下ニ
挺身消火シ飛行機ノ類燒ヲ防止シ得タリ
ク不時着機ニシテ直ニ收合不能ノ際ハ偽裝スル
ハ勿論重要部品等ヲ成ル可ク速カニ取却ス
ヲ要ス

但シ不時着地秘密飛行場ナル場合ハ萬難ヲ
排シ秘匿位置ニ搬送スルヲ要ス然ハラサレハ飛行
場發見ノ端緒トナルヘシ
ハ高度分散セル秘匿位置ニハ通信連絡ノ手段ヲ

講シアルヲ要ス

急據出勤及被害防止上重要ナリ

9 秘匿位置——準備線間ノ搬送途中空襲ヲ受

ケタルモ損害ヲ免レタル例アリ

右ハ搬送間毛布蚊帳等ヲ偽裝材料ニ用ヒ空

襲アルヤ敏速ニ警報ヲ傳達シ且チニ附近敵由

ニ入レ遮蔽ヲ爲サリ秘匿人員ノ遮蔽不十分カヲ發

見ノ端緒トナリ曷キヲ以テ注意スルヲ要ス

四 彈痕補修

空襲、敷化ト共ニ彈痕補修ハ飛行場大隊ノ主
 要ナル任務トス。宮古ノ如キハ飛火配屬ノ特務
 エニケ中隊(約一〇〇名)飛行場設定隊三ケ中
 隊(約一五〇名)ヲ以テスルモ敵機在空中ノ晝間
 ハ殆ト作業困難ニシテ敵機退散後(一八三〇)
 ヨリ拂曉時迄ニ實施セサルヘカラス。勳々モスレハ
 間ニ合ハサル狀況ナルモ其ノ日ノ彈痕ハ必ス其日
 ノ中ニ補修完了セサレハ逐次彈痕ノ数ヲ類加シ
 遂ニ飛行場ノ使用ヲ制扼セラルニ付至ルヘシ

此間ニ於テ凡有惡條件下疲勞困憊ヲ克服シ
 連續終夜ニ亘ル作業ヲ完遂センカ爲ニハ志氣ヲ
 昂揚シ一兵ニ至ル迄克ク任務ノ重大性ヲ深刻
 ニ認識セシメ航空作戰ノ先驅トシテ粉骨碎身
 スル崇高ナル犠牲的精神ヲ堅持セシムルヲ要ス
 而シテ志氣昂揚ノ爲ニ友軍ノ企圖及戰果ヲ
 知ラシムルハ効果大ナリ
 又宮古飛行場ニ於ケル如ク飛火及設定隊同一地
 在リ之ヲ統轄スル機關ナシ場合ハ補修作業ニ

シテハ飛火長ハ設定隊ヲ併セ指揮シ得ル如ク又
ルヲ可トセン

3 彈痕ハ滑走路ノ中央部ニ集中スルヲ常トス
故ニ補修材料タル碎石土砂ハ之ニ近ク集積
スルヲ要ス

4 展壓機使用前ニ築築頭ニヨル「タコツキ」ヲ入念ニ實
施スルヲ要ス

5 航空作戦ニ策應センカ爲ニハ白晝敵機ノ跳躍
下作業ヲ強行セサルヘカラサルコトアリ 而モ電探

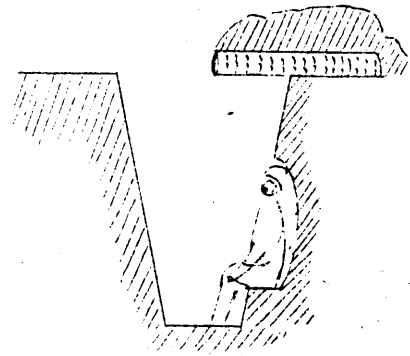
ノ活動不十分ニシテ單ニ對空監視ノ爆音聴取
ニヨリ空襲ヲ察知セル場合ハ警報ヨリ爆撃開始
迄迄良好ナル狀況ニ於テシテモ一分以内ナルヲ以
テ滑走路地區同邊三〇米内外附近ニ多數蛸室
式掩體ヲ構築スルヲ要ス 而シテ宮古ノ如ク地
質ノ飛行場ニ於テハ爆撃ニ依ル石塊等モ飛散シ
被害ヲ受クルコトアルヲ以テ掩體ハ成ル可ク左圖ノ
如キ一七米以上ノ有蓋掩體トスルヲ可トス

6 赤松業彌空襲時タル場合ハ爆撃毎ニ人員ヲ點檢

五時限爆彈ノ處置

内外ノ死傷ヲ生シタルモ指揮官コノ事實ヲ知リ
タルハ約二時間後ナリタル例アリ

直撃彈ヲ受ケテ三十名
ニ數十名待避セル處
不完全ナル一洞窟内



スルノ要アリ

宮古飛行場ニ於テ

作業中空襲ヲ受ケ

ニ数十名待避セル處

直撃彈ヲ受ケテ三十名

内外ノ死傷ヲ生シタルモ指揮官コノ事實ヲ知リ

タルハ約二時間後ナリタル例アリ

五時限爆彈ハ當初ハ殆ド五時間内外ニ定シテ

リタルモ最近ハ發火時間不規ニシテ地上作業

ヲ束縛スルコト一層大ナリ地下ニ没入セル時限

爆彈ハ比較的効力弱ク二三〇米ニシテ爆發輕

傷者一名ヲ生シタルノミナルモ地上ニ露出シタル

モノハ三〇〇米以上離隔シ受傷者ヲ出セル例アリ

石垣飛行場分散秘匿位置附近ニ二〇〇米時

限爆彈一個投下セラレタルヲ歩哨發見シテ終止

備班長以下三〇名ハ挺身之ニ綱ヲ附シ約一五

六、對空行動

○米引出シタルニ搬出後三〇分ニシテ爆發セリ
 之ヲ搬出セザリシトセハ附近ニ在リタル數機ハ確
 實ニ破壞セラレタルナラン
 一
 一 時限爆彈處理ノ爲ニ要スレハ豫メ特別作業
 一 隊ヲ編成シ置クヲ要ス 該部隊ハ特別攻撃隊ニ
 準シ取扱フモノトス
 一 飛行場分散秘匿位置等ハ迅速ナル情報傳達
 手段ヲ講スルハ作業能率向上及損害防止上絶

對必要ニシテ通信網完備シアル場合モ、断線
 ヲ顧慮シ必ず副手段ヲ準備シアルヲ要ス
 之カ爲ラツパ警鐘等ノ外試運轉等ノ騒音
 中ノ傳達ノ爲ニハ信號拳銃ハ有効ナリ
 一 防空掛將校ヲ設ケ兵員ノ退避ヲ指導確認
 一 セシムルヲ要ス往カニ樹陰家屋内等ニ在
 一 リテ被彈死傷セルモノアルニ注意ヲ要ス
 一 飛行場ニハ無用ノ人員ハ絶對ニ存在セシメサルヲ
 一 要ス特ニ出動準備間多數ノ人員ヲ右往左

住セシメ為ニ敵偵察機等ニ企圖ヲ曝露セシム
ルカ如キヲ要ス

4. 遠隔地ニ分散勤務スル兵ニ對テ是ノ行動不適當ナル
者多シ隨時起テ察ヲ飛シ指導スルヲ要ス

5. 空襲ニ依ル無差損害ハ極力避ケルヘカラス然レド
トモ貴重ナル兵器等ヲ救ハンカ為ニ敵然敵強

下ニ挺身スルノ氣魄ヲ堅持セシムルヲ要ス石原
飛行場ニ於テ器材庫被彈炎上スルマ補給中

隊長ハ自動車等ト共ニ敵機銃撃下ニ敵然敵強

シテ沿上ニ起メ大隊唯一ノマツリニ 延焼ヲ防

セリ

万一該カスベリト炎上シタランカ爾後ノ飛行部隊

ノ行動ニ支障ヲ來シタルト動カザルモノアリ

ルナラン

6. 待避訓練ハ絶ス實施シ整備ヲミルムルハ損害

防止ノ根本タリ作業間ノ各種態勢ニ於ケル

待避ノ要領ヲ規定シ豫メ之ヲ十分訓練シ

クラ要ス

七 對空射撃

對空射撃陣地ハ、應待ニ至リテ射撃陣地ニ對シテ、
 火器特性ニ依リテ發煙ヲ得ルコトヲ考ヘ、
 煙ヲ以テ目ヲ眩シクシテ、
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 發煙ノキニ微塵ノ汚染ニ依リテ、
 煙ヲ以テ目ヲ眩シクシテ、
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 對空射撃ニ對シテ、
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 對空射撃ニ對シテ、
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。

時射撃スルヲ有利トス。ヲ捕捉シ狙撃射撃機
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。

絕對的ニ刺交待射トスル
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。
 射撃者ノ如ク準備スルヲ可トス。

夕射撃高度ヲ制限シ一田ノ發射彈ヲ決定シ亂射ヲ裁メ確實ナル照準ヲ實施セシムルヲ要ス
 特ニMAニ在リテハ迅速ナル砲ノ操作ヲ實施セシム如ク諸元ヲ前以テ一定セシメ置クヲ要トス
 一銃一門宛約三〇米以上ノ分散ヲ必要トスルニ付少數ノ指揮官ニテハ實際的ニ集中射撃指揮困難ナルニ鑑ミ一銃一門宛ニ分隊長以上ノ指揮者ヲ附シ例ヘ一目標ニ對シ集中火力指向困難ナル場合ニ於テモ確實ナル各個射撃ヲ

實施セシムルコト緊要ナリ

小口輕銃ノ超低空目標ニ對スル狙撃的急襲射撃ヲ實施スル場合ニ於テ特ニ然リ

八夜間照明設備

ノ夜間照明設備要領中ニテ子式ノ一齊點滅ハ爆撃及支軍ノ作業等ニヨリ斷線ノ慮アルヲ以テ一灯一兵式ヲ可トス即チ一灯ニ兵ヲ附シ天幕ヲ携行徹宵附近ノ待避壕ニ待機セシメ置クヲ要ス

事故機ノ強行着陸ニ待ニ信號ヲ定ムルヲ要ス

又夜間ニ於ケル突發事故ニ備ヘク危險標示信號灯若干個ヲ常備スル要アリ

九 附屬施設及物資集積場

八 附屬施設 物資集積場ハ各種ノ不便ヲ思フモ飛行地區外周ニ〇〇〇米以上離隔セル遮蔽良好ナル位置ニ設定スルヲ要ス

又兵舎ハ分隊單位 倉庫ハ其收容容積數五〇〇

一〇〇個以内且各品種綜合合格納トシ配置ハ

不規ナルヲ要ス

九 遮蔽ノ爲ニ大ナル森林地帯ヲ避ケ在ル所ノ

林ヲ有利トス

八 建物ハ半地下トシ薬莖等ハ銃撃ニ依リ容易

ニ火災ヲ生シタルコトアリ成ルヘク避クルヲ要ス

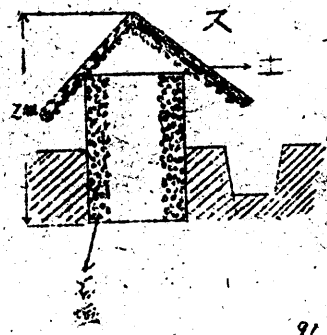
九 構造ニテ構築セル糧秣庫ノ一例左圖ノ如シ

七 建物毎ニ近クニ洞窟ヲ設ケ人員退避ノ外裝具資材等ヲ輕易ニ收容合シ得ル如クスルヲ可トス

6. 分散セル物資集積場銃撃ニ依リ炎上多數ノ被服ヲ焼失セル例アリ

監視兵ヲ附シ且防火資材

(水、砂)ヲ準備シテスル損善ハ容易ニ防
止シ得ヘシ(葦屋根ニテモ出火直後ナラバ容易ニ
消火シ得)



ク秘匿集積場附近ニ車輛ノ出入ヲ極力制限シ
時ニ彈痕ヲ留メサルヲ要ス

偽装ハ遮蔽ニナル但シ雜草内ニ隠匿スルハ
延焼ニ依ル被害多シ

火事場ハ遠隔ノ不便ヲ伴フモ安全ナル箇所ニ
設テ運搬スルヲ可トス

日數因(一面制空時間約二時間)ノ下
ニ於テモ敵機ノ行動天候等ヨリ其間隔ヲ精
捉シ運搬スルハ難事ナラス

火事場ニ集積スル糧秣等ハ最小限(二三百分
ニ留ムルヲ要ス)

炊事場、火土ニヨリ多数ノ糧秣ヲ失ヒタル者

アリ

炊飯時、發煙ハ離隔セル位置ニ誘導スル事

セシムルヲ要ス、煙導更ニ大ナルヒキハ發煙ノ大計

ハ途中ニテ消滅ス

衛生救護

綸帶所ハ飛行場ヨリ離隔セル偽裝良好ナル積込

式洞窟又ハ雜木林内ニ設ケ成ル可ク小川等水源

ニ近キ所又自動車ニ依ル搬送便ナル所ヲ可ク又

石洞窟内ニ屋根ヲ葺キ排水溝ヲ設ケ(雨水漏レノタ

メ支障ヲ來セルコトアリ)出入口ハ爆風除ケヲ築キ

偽裝ヲ完全ナラシムルヲ要ス

滅菌等ニ使用スル爲木炭止ムヲ得サルモ發煙

小ナル乾燥セル薪、細片等ヲ多量ニ準備スル

ヲ要ス

以救護所ハ飛行場附近ノ眺望良好ナル位置ニ完

全ナル耐爆施設トシ必要ニ應シ適宜推進救

護ニ任セシムルヲ可トス

- 5. 急造代用擔架ハ各小隊各班ニ少クモ二三個ヲ準備シ置クヲ要ス
- 6. 傷者ハ一般ニ夕刻時ニ多ク發生シ之カ爲繃帶所内ノ照明ニ故障機ニ蓄電池ヲ利用スル等ノ著意ヲ要ス

- 7. 員傷セハ溢リニ衛生部員ニ依存スル傾向アルモ平常教育セラレアル救急處置ヲ施シタル後繃帶所ニ至ラシムレハ爾後治療ノ結果モ良好ナリ救急法ノ教育ハ更ニ演練ノ要ヲ認ム
- 8. 各少隊班ハ埋没者發掘用圓匙^及十字鉞等ヲ必ス準備シアルヲ要ス
- 9. 三〇耗ニ〇耗五耗連續注射機等ノ圓筒吸子其他必要器具類ハ早期滅菌シアルヲ要ス
- 10. 強心劑止血劑等ノ注射藥及繃帶等八十個

單位トシ又釣止止血帶ハ五個程度豫備ヲ
 常時^夫右寮個所ニ備付テアルヲ要ス
 〆縮帶包ヲ濫リニ小創ニ使用スル傾向アリ平常
 〆教育ヲ徹底スルト共ニ縮帶所ニハ相當數豫
 備品ヲ保有シアルヲ要ス

天號作戰ニ於ケル靴訓資料

軍醫部

一 今次歐戰ニ於ケル出撃ハ主トシテ薄暮拂曉ナルヲ
 以テ飛行機整備分散格納ハ總ヘテ夜間ニシテ地
 上勤務員ノ外傷豫防及防塵上隘路ヲ形成シタリ
 特ニ特警工、如キハ地下足袋不足ハ爲足部ノ外傷
 多キヲ以テ草鞋ヲ製作使用セシメ或ハ地下足袋ハ
 特ニ夜間ニシテ使用セシムル等創意工夫セシメタリ
 又防塵上ヨリハ夜間ハ必ス長袖長袴ヲ使用スル如
 ク指導シ作業後、温食給與更衣及入浴等ヲ確

行セシメタリ

ニ今次戦闘ハ主トシテ特攻機ニ依リ攻撃ナルヲ以テ

「ポスト」ニ於ケル救急救護ヲ實施セル事勅ナリ
歸還後「ポスト」ニ於ケル戰鬥恢復ハ主トシテ誘導機

機直掩機ノ搭乗者ナリ

三臺灣ヲ基地トシテ出撃セル特攻機誘導機直

掩機機動飛行場ニ於ケル不時着ノ際第一救護

ハ迅速ニ實施サレ前進基地(石垣宮古)ノ病院

ニ一時收容シ連絡機ニ便來シ臨時航空病院

ニ收容セルモ更ニ圓滑ナラシムル為後送計畫飛

行機)ヲ立案シ置クヲ要ス

且輸送機ハ患者輸送用ニ便ナル如ク適宜内部

ヲ改造シ得ル如クナシアレハ更ニ可ナリ

四飛行師團ノ特性トシテ衛生機關ヲ保有シ非サリシモ

今次作戰開始ト共ニ臨時航空病院ヲ軍隊區分ニ

依リ編成セラレタル為ニ空口勤務者ハ各地ヨリ空輸

シ極メテ手輕ニ入院セシメ而モ之カ治療ヲ促進シ

症狀ト狀況任務トヲ勘考シ之カ急返ナル戰

カ化ヲ計リ得タリ

五 飛行師團自隊ニ相當量ノ緊急衛生材料ヲ常備シ置テ要ス

今次在宮古石垣等ノ飛行場大隊並ニ地上兵團ニ計一四八回海ニ輸送並ニ空王輸給セリ

六 航空部隊特種衛生材料ハ飛行場大甲隊ニ常備

セシムルヲ要ス

轉進シテレル部隊ノ急需ニ應ジ得タリ

航空部隊ノ奥地展開並ニ航空部隊ノ衛生材料ノ供給

敵少ナキ爲航空部隊ハ衛生材料ノ補給意ヲ怠ラサリシヲ以テ各地區司令部ニ擔任實施セシ

ヌタリ

八 第五野戰航空修理廠ニ於テ特攻機 航空機ノ改修裝備作業ノタメ連日徹夜作業ヲ實施セ

ルヲ以テ一週間ニ亘リ空中勤務者用特種衛生

材料(疲勞恢復液 コカコラ錠 獸力增強錠 藥用

酵母 肝油球)並ニ航空糧食ヲ特ニ給與シテ疲

勞恢復ニ多大ナル効果ヲ與テ得タリ